

vol.1
2024年4月

Arai Darumaya

だるま屋通信

— 春号 —

今号の topics

Topics
1

新春・1月13日(土)に絵付け体験を開催しました

Topics
2

メディアに取り上げていただきました

Topics
3

必勝祈願ベルマーレだるまをお届けしてきました

Topics
4

平塚市と伊豆市の記念だるまを製作しました

だるまのお客様のご紹介♪

Topics
5

だるまの豆知識

Topics
6

辰の干支だるまシーズンを振り返って

Topics
7

だるま屋通信はダウンロードして紙でご覧いただけます。
最適サイズはA4です。スマホなどでご覧いただく場合は、
ピンチアウト(画面を指2本で拡大)していただけます。

新春・1月13日(土)に絵付け体験を開催しました

平塚の駅ビル「ラスカ平塚」で1月13日(土)に新春絵付け体験を開催しました。満員御礼いただき賑やかな一日となりました。どのイベントでも、絵付けしただるまは乾かしてお持ち帰りいただけます。皆さまの良い思い出・大切な作品になってくれるのではないかと、開催できる機会を大切にしております。4代目と5代目で講師(対応)などをさせていただきましたが、絵付けを楽しんでいる皆さまと一緒に時間を過ごすことが出来て、繁忙期の終盤に皆さまから元気をもらえる有りがたい一日でした。知らないかたが多いと思いますが、荒井だるま屋では様々な絵付け体験イベントを不定期ですが開催しております。繁忙期の秋～冬には難しいのですが、春～夏に複数開催することもあります。昨年の夏には、初めて『湘南ひらつか七夕まつり』で絵付け体験を開催させていただきました。初回のイベントながら有りがたく大盛況をいただき、小さなお子様から、大人のかた、海外のかたにも参加していただきました。



ラスカの告知ポスターです。



広ーい♪会場の様子です。

なんと、七夕まつりを訪問していた河野太郎さんが絵付け体験スペースに顔を出してくださり、人だかりができるシチュエーションもありました！河野太郎さんは選挙の必勝だるまのお客さんなんです。絵付け体験イベントは不定期なので告知が難しいのですが、可能な場合はホームページでもお知らせさせていただきますので、興味のあるかたはご参加くださいね！



※多数のお客様が映りますので、イラスト化しております。



河野太郎さんと荒井だるま屋4代目です。



乾いてからお持ち帰りができます♪

お客様の作品
一部ご紹介♪



かわいらしい作品から迫力ある作品まで♪絵付け体験では世界に1つだけのオリジナルのだるまが作れます。

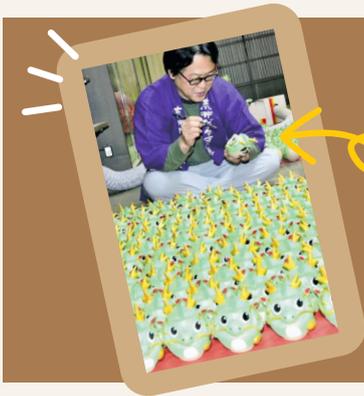
メディアに取り上げていただきました

各メディアの関係者の皆さま、見て(聞いて)いただいたお客様、ありがとうございました!

2023年(辰シーズン)もメディアに取り上げていただきました。HPで告知できましたのがFMヨコハマの『こだわりびとをたずねて』だけでしたが、有りがたく、複数の新聞社やテレビなどの取材を受けさせていただきました。撮影陣が工房に来てくれて、撮影をしてインタビューに答えます。取材時間は長いものもありますが、放送で取り上げられる部分はほんの少しです。わたくしどもは、どの部分を使ってくれても良いですよ。と、担当者さんにいつもお任せしております。その為、完成した記事や放送を見ると、自身の発信なのにとっても新鮮に感じます。その時代やニーズに合った編集をするさすがのプロ集団のみなさんに感謝です!



荒井だるま屋4代目と5代目が撮影していただいている場面です。放送日や掲載日の事前の告知ができないメディアも多くあり、お客様に突然ご覧いただくことが多いと思います。新聞見たよ! テレビ出たでしょ? と喜んで声を掛けていただき、こちらも嬉しい限りです。



こちらの2枚の写真は、右が工房での撮影風景で、左が実際の放送(配信)に使われたものです。プロのカメラマンさんのパッチリなアングルで、辰の干支だるまも4代目も、どちらも素敵に撮っていただきました! ありがとうございました!

必勝祈願
ベルマーレだるまを
お届けしてきました



坂本社長GMと荒井だるま屋4代目です。

荒井だるま屋では湘南平塚ベルマーレの必勝祈願だるまを製作させていただいております。今では毎年恒例になっております。2月にベルマーレ平塚の本社に『必勝祈願ベルマーレだるま』をお届けしてきました。今シーズンの必勝を願い、心を込めて製作しただるまです。たくさんの従業員さんにお迎えしていただき、坂本社長GMとお写真を撮っていただきました。荒井だるま屋は湘南平塚ベルマーレを応援しています!

こちらは15号サイズの迫力のある大きなだるまです。だるまのカスタムは小さいものから大きいものまで幅広く対応しております。ご希望出来る限り合わせて製作させていただきます! お問い合わせくださいね。



おなかには『一戦必湘』の文字を入れています。必勝を湘南の『湘』で表現!

平塚市と伊豆市の 記念だるまを 製作しました

平塚市・伊豆市の友好都市提携10周年記念式典の記念のだるまをご依頼いただき製作させていただきました。それぞれをイメージするカラーで、おなかには市章を入れております。お互いに協力しあえて成長していけたらという願いを込めて作りました。式典で目を入れて、ガラスケースの中に仲良く鎮座させてくれました。



完成直後のだるまです。



仲良く鎮座しています♪



昨年の式典の様子です。微笑ましいですね。

伊豆市も海も緑もとても豊かで、自然いっぱいの素敵な都市ですね。平塚市のその他の友好都市には岩手県の花巻市、岐阜県の（飛騨）高山市、リトアニアです。さすがにリトアニアで荒井だるま屋のだるまは買えませんが、花巻市などは、お互いの都市の名産品を取り扱っているのです。岩手県でもわたくしどものだるまをお買い求めいただけます。人と人、都市と都市、ご縁を繋げていただき有りがたく思います。感謝のだるまを作り続けて行きたいです。

だるまの お客様のご紹介♪

第1回

今回のご紹介は、神奈川県厚木市七沢にある温泉旅館『かぶと湯温泉山水楼』さんです。隠れ家的な落ち着いた雰囲気です。居心地よく、お湯も最高でおススメです。

山水楼さんは、荒井だるま屋の3代目からのお客様で、名入れだるまを長年ご注文いただいております。入り口を入ると、右と左から荒井だるま屋のだるまがお出迎え！たくさん並んで迫力があります！山水楼さんは、お納めせずにコレクションにしてくださっているようで、ご主人が昔のお話をしてくださいました。このたくさん並んでいるだるまを気に入ったお客様から是非分けて欲しいとお願いされたことがあり、あまりの熱意に負けて2個差し上げたそうです。



『かぶと湯温泉山水楼』さんの正面です。風情ありますね！

そのあと、驚くことに目に見えて経営が悪化してしまったと...本当にだるまにご利益があるのだと実感したので、もう二度と分けてはあげられませんね、と興味深いお話を聞かせてくださいました。心を込めて作っている製作者として大変嬉しい限りです。

初回は、山水楼さんをご紹介させていただきました。わたしも是非掲載して欲しい！というお客様、是非とも素敵なエピソードをお寄せください！



両側にたくさん鎮座♪
作り手から見ても懐かしいだるまがあります。1年で納めるのも良い、集めても良いですね。

だるまの豆知識

第1回

相州だるまのルーツとなった群馬県の高崎だるまがどのように生まれたのか、お伝えします！



とても貴重な高崎だるまの木型です。



だるまはインドの僧侶・達磨大師がモデルです。

高崎だるまはかつて豊岡だるまとも呼ばれ、その歴史は大変古いです。江戸時代後期の文化・文政年間の頃に碓氷群上豊岡村の山縣友五郎により生み出され、当時の流行り病の疱瘡除けとして江戸庶民の傍らにありました。最初は山縣友五郎とその親族だけで作っていましたが、友五郎のたゆまぬ努力により徐々に技法が伝承されていきます。江戸幕末から明治に入り、木型名人の葦名鉄十郎盛幸が豊岡に住み始め、だるまの木型を専門に掘り始めます。生涯で何百体ものだるまの木型を掘り上げました。これにより豊岡地域でたくさんのだるまの職人が誕生します。山縣友五郎のだるま作りの技法と、木彫り名人の葦名鉄十郎盛幸、そして木彫りを継承した松本由松親子のお陰で、いつしか高崎は日本一のだるまの産地・だるまの里と言われるようになりました。



だるま館の館内には数えきれない程の作品が並んでいますが、峰岸さんのコレクション全体の半数以下というから驚きです！

こちらの記事は、高崎だるまの老舗の中喜屋5代目・峰岸貴美次さんより頂戴しました。だるまの伝統工芸士であり、だるまのコレクターでもあります。荒井だるま屋4代目も会員の『全日本だるま研究会』の中でも峰岸さんのだるまのコレクション数は圧倒的で、だるま館・展示館を建ててしまうほどのすごいコレクターなんです。今回は高崎だるまの発祥についてほんの一部しか取り上げられませんでしたので、今後、峰岸さんの素晴らしい全文を紹介させていただく予定です。

辰の干支だるま シーズンを振り返って

辰の干支だるまを10月17日(火)の大安天赦日の最強開運日に販売を開始させていただきました。販売日が決まる前から購入したいと問い合わせも多く、デザインを見なくても絶対に関心！と思入れの強いリピーターの皆さまに後押ししていただきながらのスタートとなりました。辰は十二支で唯一架空の生物がゆえに、強いこだわりが出てしまいました。もっとこうしたい、ああしたい...手の凝ったデザインになり、その為、作業行程が多くなることで1つの干支だるまを作り上げるのに時間が掛かってしまい、結局は早めの売り切れ(ご予約)となりました。たくさんのお客様にお待ちいただくことになり大変申し訳ありませんでした。かわいいデザインだから待つ価値がある！と、嬉しいお言葉もいただきました。快くお待ちいただき、購入していただけたことに大変感謝しております。2024年、辰の干支だるまを身近に置いていただき、皆さまに幸運が訪れるよう願っております！



西の市に出店した時の写真です。

今回の辰の干支だるまのこだわりポイント！ベスト3はこちらです。

POINT

辰のウロコ感を光沢のあるカラーで表現！



近年では恒例となっておりますハートマーク♪

願いを叶えるという如意宝珠をしっかりと掴みます♪

だるま屋通信・春号はいかがでしたか？楽しく・興味深く読んでいただければ幸いです。わたくしどもが皆さまにお目にかかれるのは主に10月～1月頃の少しの期間になります。それ以外の時期は製作はもちろん、イベントも開催したりしていますので、色々な情報を発信していければと思います。だるま屋通信は、年に4回を目指して掲載予定です。次号もお楽しみに！

※状況により回数が減ってしまう年があるかも知れません。その際は何卒ご了承くださいませ。